

銀色の道

「智」と「心」

塾長 山田勝登

Vol. 19 のトピックス

★教室便り

★四方山話

★42.195 km考

★編集後記

ワールドカップもドイツの優勝で幕を閉じました。日本はあえなく一次リーグで敗退しました。期待を胸に早起きして、ギリシャ戦、コロンビア戦を見た生徒も多いと思います。戦前、TVではコメンテーター、解説者が、こぞってベスト4だの8だの、エース本田に至っては「優勝」を狙う！というお祭り騒ぎだったので、無理ありません。

しかし、私は彼らの言葉に????? FIFA ランキングでは日本は46位。対戦国のコロンビア8位、ギリシャ12位、コートジボワール23位。みんな日本よりはるか上なのに、なぜに簡単に一次リーグが突破できるのか？松木安太郎氏など声を大にして2勝1分！

私はコートジボワール戦を後半から見ましたが、同点、逆転ゴールを見たときに「あ、これはやっぱり日本は勝てないわ」と思ってしまいましたね。ランキング通り、日本は敗退するわけで



すが、負けるたびに「自分たちのサッカーができてない」

そうでしょうね、相手が強くてはそう簡単にはサッカーをやらせてもらえないでしょう。冷静に考えると、早朝のTVの視聴率を上げるために「日本は史上最強のチームで勝てる！」という幻想を植え付けたのではないかと疑問を持ちました。最後のコロンビア戦の前には、先発メンバーを大幅に入れ替えてくるから、勝てる！なんて、なんとしてでも日本が勝つかのように理由づけをしてましたね。TVを見ててもう笑うしかありませんでした。結果、その主力が欠けた相手にも完敗でしたね。

しかし、日本人で本当に優しい。よその国では負けて帰国した選手には結構厳しいんですよ。お隣の国なんか、罵声を浴びせかけ「K国のサッカーは死んだ！」との横断幕まで。

結果はどうあれ一生懸命に頑張った選手に暖かい言葉をかける我が民族、この国に生まれて本当によかったと思います。では銀道 vol. 20 の発進です。

◆教室便り◆

国広・島村先生講演会

前号は講演会の前日に書き終えました。5月末日、長良川スポーツプラザのおなじみ大会議室で、岡山より両先生を迎えての講演会を開催しました。

目的は？

- ①高3生が部活を終えた時期であり、ここでモチベーションを一気に上げる
- ②中学生以上の生徒に「基礎とは何か」そしてその大切さを知ってもらう
- ③大学受験というものを、中学生以上には意識してもらう

まずは島村先生。JR岐阜駅へ迎えに行き、車で、私は「アナと雪の女王」の話から入ってもらえませんか？というリクエストを突然にしました。(Let it be と Let it go の違いから話を膨らませてほしい) それに関して、会場ではオープニングまでに「アナと雪の女王」の歌のビデオを流しました。結構綺麗な画質だったでしょ？余談ですが、これは当日の午前中から3時間、ああでもないこうでもないと、80インチ以上のスクリーンに投射したときに耐えうる画質を You Tube から悪戦苦闘してやっと落とせたのです。

しかしさすがに島村先生です。私のリクエストに見事なまでに答えていただきました。

たった「be」と「go」の違いより文法的な解説から発音他まで、10数分話。

私は生徒の前で島村先生のファンだと公言しています。「天才・島村」と言っています。

みなさん、わかるでしょ？

お二方が日本で最も大学受験に精通している方だということが。



また長友の話は初めて聞き、びっくりしましたね。世界でプレーしているプレーヤーが大学時代まで無名の選手だったとは…そしてあんな練習をしていたとは。さらにとどめの話、寝る前に天井には…はい、皆さん、実行していますか！？

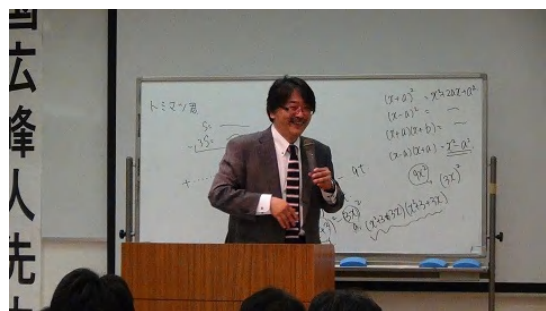
そして国広先生。高3のT君、だいぶいじられました、絶対に得しましたね。話がすごく入ってきたでしょ？

「基礎」とは何か？

国広先生の質問に、当てられた生徒は、「公式」「計算力」等と答えましたね。私もふんふんそうだな、と思っていました。ところが、先生曰くそれらは基礎ではなく、基礎以前のものである。そして、国広先生が具体的に例題を解いて、公式の起源からの

話をして最後に結論付けていった言葉は、目からうろこでした。確認の為にもう一度先生に代わり言いましょうか。

「数学の問題を解くときに要求していることは、パッと稲妻が光ったように頭の中に素晴らしい解法がひらめく、そういうものを要求しているではありません。例えばどんなに難しい大学の入試問題であれ、ヒラメキを使って問題を解くことなんてありません。だって、2000年かかって積み上げてきたものをできるのか、トミー（T君）！！！」



さらに続きます。

「自分の知っているものと、目の前の問題との差を見つけて、自分の知っているものにどう変えていくのかっていうところが大学受験の数学で、学ばなければいけない基礎なんです」

そして最後にこう締めくくられました。

「ファンデーション（基礎）は厚く塗れと言いましたが、その前に何が基礎なのかを毎日の勉強の中で見抜いて下さい。ただ流されて勉強するのではなく、この問題を解いて私は何がゲットできたの？次の問題から僕は何を学んだの？と言うことをし

っかりと見定めていくこと。そしてそれをたくさん積み上げていくこと、それが最終的に学力、大学受験の結果にまで結び付きます。」

本当に「なるほど」、「そうか」の連続でした。国広先生の話、数学のみならず、他のものにも言えることですよ。

アンケートを皆さんに書いてもらいました、すこぶる好評で岡山に FAX しました。

「やってよかった」と心から思いました。参加してくれた保護者の中で、岐阜高校 3 年 H 君のお父さんから手紙をいただきましたので紹介します。

拝啓 若鮎おどる季節となりました。

塾長様、事務長様はじめ学志舎の皆様、平素は大変お世話になっております。

私も受験生の父兄として先日の国広先生、島村先生の講演を聴かせて頂きました。

“大学受験を日本で最も熟知されている方”と言われては、是非にこの想いで参加いたしました。

受験生対象の講演と思っておりましたが、いつの間にか自らのためのメモが配布いただいた資料の空きスペースを埋めていました。

お二人の先生のお話は“受験”という限定的な季節に留まることなく、社会人となって二十年以上も経つ私にもとても参考に

なる内容でした。

印象に残りましたのは“覚悟を決める”
“自分自身を見つめなおす”そして毎日練習を積み重ね、セリアAを舞台に活躍されるサッカー選手。

自分が後悔したくないから、今日できることは全てやるという青森の漁師さん。アプリケーションへつながるフェンデーション(基礎)の大切さ。

私自身が出来ていないことを実感したのは言うまでのことありませんが…。

末筆となりましたが、お二人の先生、又この様なイベントにお招きくださった学志舎さんに感謝しております。

国広先生、島村先生、塾長様、事務長様、皆様ありがとうございました。

敬具

本当にありがとうございました。

HさんとはH君が入塾して以来、8年目のお付き合いですかね。

坐禅、リレーマラソンほか、学志舎のイベントには数多く参加していただいております。

何年か前の映画鑑賞会の後、参加コーチがいなくて、私と事務長が後片付けをしていたら、いったん帰途に着いたはずの原さんが戻ってきてくれて「お手伝いしましょうか？」

うれしかったですね。

講演を聞きながら、カメラを回しながら

全体を見ていると、Hさん何やらメモをしている、と思ったら、こういうことだったんですね。私は思います、Hさんは素直な人だなんて。間違わないでくださいね。素直ってというのは、人の言うことをなんでも聞くということではありません。何かを掴もうとしている人のことです。

いつぞや、なんかの時に書きました。

「掴もうとする人」と「解かろうとする人」の違いを。

伸びない生徒に多いのが後者です。どういうことか？

人は過去の経験から、いろいろな引き出しを作り、持っています。ある情報が入ってきたとき、解かろうとする人はその情報をどれかの引き出しに入れようとします。しかし、それに関する引き出しがないと、情報を受け取りません。または、自分にとって好ましくないもの、つらそうなことなどもはなから受け取りません。

それに対して掴もうとする人は、引き出しを探し回り、ないと分かった時にどんな情報であれ、新しい引き出しを作って、いったん入れてみるのです。そして咀嚼して判断して自分のものとします。

何回アドバイスしても、過去の小さな成功体験から離れられないのか、人の言うことに耳を貸したくないのか、俺は俺の道を行く生徒過去にいました。はすにかまえて素直でない生徒。そしてプライドだけは一人前。しかし本当に伸びません。

大人も子供も同じだと思います。おごることない謙虚な気持ち、自分はまだまだ完成されていないという気持ちから、掴もう、学ぼうとする姿勢が鮮明になるのです。伸びる人＝常に掴もうとする人（素直な人）なんですよ。

原さんの手紙を読んで、ふとこのような思いが頭をめぐりました。生徒の皆さん、人は死ぬまで学び続けるものです。そう思って間違いありません。いっぱい引き出しを作ってくださいね！

田植え体験

6月8日（土）3時から、常盤小より北へ約500mあたりにある田んぼで、田植えをしました。

まずは農協のKさん、お百姓さんの方から説明をしてもらいました。



苗の束から2、3本をとって植える、これが基本です。あとは紐のしるしをつけたところに差し込んでいくだけ。

皆一列になり、田植えの開始。



中2年の鷺見さんのお母さんにも参加していただきました。「バレーの星」のバックプリントTシャツがカッコよかったですよ！

初めての生徒は、足の指の間から泥がニユルニユルで、「気持ち悪い！」

途中で夕立が降り始め、にわかには空に異変が…雷が大嫌いな中央中3年の清水さん「塾長、公民館に避難していいですか？」

雨もやみ、また全員で田植え。1時間少々で田んぼ全部を植える事が出来ました。



前半戦まだまだ元気で植えています！

それでは中央中3年Y. Iの感想をどうぞ。

僕が田植えをして感じたことは、まずその大変さです。覚悟はしていましたが、腰が痛くなるし、苗を数本ずつ、塊から引きはがすのが意外と大変で、肘や指が痛くなりました。

日本人の主食である米はこの苦勞があつてできているんだとわかりました。食べ物食べられるのは、それを作ってくれる人がいるからで、感謝を忘れてはいけないと思いました。田植えに行つて、食べ物への感謝を改めて思い返すことができたので、行つて良かったと思いました。

皆さんも普段何気なく食べている食物について、考えることができるので、ぜひ参加してみてください。僕は来年も行きたいと思っています。

I君ありがとう！
先生が言いたいことをしっかり書いてくれました。

中間テスト

6月8日の長良中を皮切りに、最終20日の鶯谷中まで、生徒が通う8つの中学で試験がありました。試験当日は、早朝から塾で最後のチェックの朝学習。

今回も、事務長の手作りのオムスビに味噌汁、お茶、栄養ドリンクで朝食をとり、各

自、元気よくテストに向かつて行きました。



さて、今回の結果から思うこと。

OK 学習法が普段の授業でどれだけできているか+2週間前からの試験対策講習会での頑張り=結果

おおむねこれにつきます。あとはいつも口を酸っぱくして生徒に言ってる、いかに「単純答覚え」をしないかですね。

例えば大問2の(1)の答えは桓武天皇、(2)の答えは選択枝「イ」だとか。それではワーク・テキストのその問題だけに通用する学習です。

内容を理解して覚える、質問と答えの両方を覚えるが本当の学習です。

すなわち

平安京を遷都=桓武天皇、
桓武天皇のやったことは=唐から帰国した最澄、空海の仏教を保護。坂上田村麻呂を征夷大將軍として蝦夷制圧に派遣。
こういう感じで覚えていくのですね。

さて1年生は初めてなので前回との比較

はできませんので2・3年の結果です。

2年生

アップした生徒 46%

変わらない(±10点) 9%

ダウンした生徒 45%

う〜んこれは普通の塾の成績ですね。ダウンした生徒が多すぎます。

大手、中小を押し並べて、塾はこの数字がだいたい3分の1ずつになります。毎回成績アップ者が多ければ学校のテストの平均点は450点超なんてことにもありかねません。上がる生徒もいれば、下がる生徒もいるために平均点は変わらないのです。

しかし今回の2年生、学志舎としてはちょっとこれではいけません。期末は必ずリベンジします！

3年生

アップ 50%

変わらず 36%

ダウン 14%

これは塾としては非常に良い成績です。ただし、学志舎としてはまだまだ満足いく成績ではありません。では今回のテスト結果での上昇率上位3人を紹介しましょう。

ここでいう上昇率とは、上がった点数ではありません。たとえば前回420点の生徒が今回440点だとすると

$$500 - 420 = 80 \text{ (上げられる限界点数)}$$

$$440 - 420 = 20 \text{ (上がった点)}$$

$$20 \div 80 = 0.25$$

つまり上昇率25%となるわけです。

そうすると、400点の生徒が20点上がったのと、300点の生徒が40点上がったのが同率となります。

1位 長良中3年 K. T君 45.9%

2位 中央中2年 T. Mさん 37.5%

3位 附属中3年 R. Sさん 35.7%

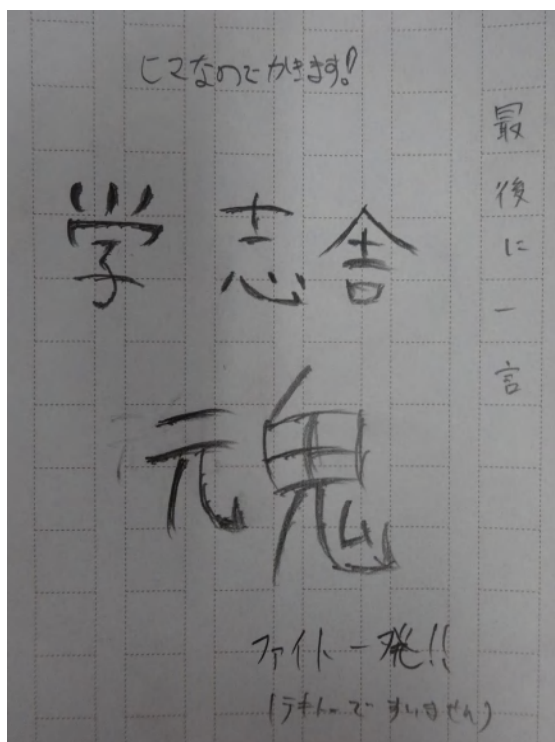
それでは、第一位のT君の感想です。

僕は今回の中間テストで100点以上アップしました。この点数は1年の前期中間テストを除いての最高点です。今回のテストは今までと違って、テストの1カ月前ころから地道に「OK 学習法」を進めてきました。特に苦手な英語と数学もOKを重ねていき、10点以上上げることに成功しました。

ただ、今回は結果的には大幅に点数は上がりましたが、自分の目標点には少し届かなかったので、自分の中での評価は70%くらいです。テストだと不合格のパーセンテージですね。この30%を埋めるために今僕は次のテストに向かって取り組んでいます。「まだ早いんじゃない」と思う人がいるかもしれませんが、それでは甘いと思うので、次回は100%になるように頑張ります。そのために学校の授業の2週間分の予習ペースをキープして、テスト範囲が発表されるころには、「ノートOK」が全部とれているようにして臨みたいです。そして志望校の岐山高校に合格できるように、学力、内申とも上げていけるよう、この半年間を受験生として頑張ります。

いや～最後の決意もいいですね。皆さん大切なことが分かりましたか？T君の書いてくれた太字下線部ですよ。

予習学習、これが最大の肝です！！
今回の中間試験では、今まで以上によく質問をしましたね。T君の学習に対する気合いが十分に感じられましたよ。彼が書いてくれた、感想のあとに余った紙面に書いてあったのがこれ！



いや～うれしいですね。
期末テストでは目標点達成だ！

高校生食事会

6月21日に初めてのイベントとして開催しました。

18年間塾をやってきて思いました。受験はチームで乗り切ったほうがよい、と。皆が和気あいあい、お互いに励ましあって受験を迎える年は結果がよいのです。だから受験はチームで乗りきる。

例えば・・・

土日、自習に来た生徒たち。早めに帰ろうとしている生徒に

「え、もう帰るの？」

で、1時間2時間勉強時間がずっと伸びるんです。土曜日の午前中A君の顔が見えない。すかさず、Bさん携帯で

「なんで来てないの？みんな勉強してるよ」

A君、塾にすっ飛んでくる。

仲がよいといろんな効果が生まれるんですよね。よって皆の接着剤となるべく食事会を初めて開催しました。



場所は東長良の清泉の湯、リカーマウンテンの駐車場南の「きかん坊」
18時から20時までの予定でした。しかし、異様に盛り上がり、気づくと21時前。3時間でこの食事は終了しました。



終了前に私は高校生に確認しました。
学志舎のフラットラインの法則です。

「うちの塾では、通っている高校に上下はない。受験する大学にも上下はない。それが学志舎のフラットラインの法則やね。

もし上下があるとすれば、それは君らが社会に出て、人のために一生懸命働いて、周りの人たちからどれだけ多くの『ありがとう』を言ってもらえるか。どれだけ質の高い感謝の言葉をもらえるか。結果、人生を終えるときにどれだけ充実感を持ってもらえるか、自分の人生に納得できたか。もしかするとそこにはあるかもしれない。」

そして最後に一本締めでお開き。

「それでは1本締めで終わります。

学志舎の生徒の学力向上

と

コーチ達の単位の取得

を祈念しまして

よ～～お ポン！」

では、岐阜高校3年T. Nさんの感想をどうぞ。

高3生を中心として、行われた食事会に参加した感想を一言で表すと、「楽しかった」です。そして学志舎に入って良かったと、改めて思いました。

今まで同じ部屋で「大学合格」という同じ目的を持った仲間と話す機会もほとんどなく、ただ個人で勉強していました。しかし塾長から「団結力は大切だ、学志舎の受験生はチームだよ」との言葉を聞いて、周りの人やコーチと話をしてみたいと思っていました。そんな時にあった「高校生食事会 with coach」はいい機会でした。

会はコーチとも生徒とも和やかな雰囲気です。会話が始まり、途中からはワイワイガヤガヤ、最後は大笑いの連続でした。途中で2回席替えがあり、ほとんどの人と話をすることができ、皆と壁がなくなり距離が縮まったような気がしました。ちなみに食事は男子生徒、コーチも残すほど食べきれないほどの量でし

た。食事会の後、同じ受験生としてこのメンバーで刺激しあいながら、受験に挑んでいきたいと、さらにコーチにはもっともっと積極的に質問したいと思いました。

この食事会、今回が初めてだそうです、出られなかった下級生の皆さん、来年は絶対に出た方がいいですよ！塾長のお話では、高校生食事会は来年以降、年間行事に組み込むそうです。

Nさん、ありがとう。

高校生食事会、学志舎の年間イベントの一つとして、来年以降も続けます！

実はこの夏、卒塾生を一同に会して、学志舎同窓会を開催しようと思っています。この春卒塾したばかりの1年生から4年生までを集めての飲み会です。そしてその場で「大学部」の新設を発表します。

「大学部」といっても、私の勝手塾です。私がチョイスした講演録などを、定期的に勝手に卒塾生に送り、感想を送りたい生徒だけ送ってもらう。もちろんタダです。社会人となる4、6年生（もしくは院2年生）の時にだけは「卒論」を書いてもらう。何のために働くのか？ どういう社会人になりたいのか？ などなど。そしてまた皆さんに紹介したいと思っています。それが学志舎の完成形だと思っています。

智をつけよ そして人のために活かせ！

夏プロ 2014

今年も夏が来ました。世間でいう夏期講習会。学志舎では8年前から各季節の特別講習会を「project=計画」と名付けています。そして一日一日の計画を自分で考えて立ててもらっています。2年前からは「OK学習法」を取り入れ、予習学習に注力しています。「計画・予習」それが学志舎の特色です。一人ひとりが、全員が違う夏プロなのです。考えて計画を立てるのです。どうすれば自分の目標を達成できるか。予習学習ができるか。しかし、計画通りに進むことは大人でも簡単ではありません。万が一うまくいかないときに、いかに修正していけるかが大切なことなのです。

いわゆる「失敗」。

子供の可能性を伸ばすのは「勉強」ではなく「未知への挑戦」だと思います。でも、未知への挑戦には必ず「失敗」がつきものです。初めてやることで上手くいくことなどありません。自転車だって最初から上手に乗れる子なんていないことは大人なら誰でも知っています。子供は失敗という経験から、どうすればうまくいくかを考え、再び挑戦を繰り返すことによって無限の可能性を開花させるきっかけを手に入れるのです。

「勉強をすれば、可能性が伸びる」と考えられるようになった理由は「勉強をすれば、頭が良くなるから」でも「いい大学に行けば、将来の選択肢が広がるから」でもありません。「勉強」は、日々「未知なる事へ

の挑戦」が経験できます。そして計画学習は、さらに自らの考えでアクションを起こす挑戦ともいえましょう。

今、世の中の大半の塾の存在目的は、「失敗させないこと」にあります。学校のテストで失敗させない、成績で失敗させない、受験で失敗させない…それは「子供に失敗をさせたくない」という親のニーズと合致して、世の中では誰も疑わない常識となっています。だから塾が全てのレールを敷いて、その上を走らせるのです。子供たちにとってこれほど楽なことはありません。自ら考えることなく言われたことをするだけですから。

しかし、失敗する権利を奪うということは子供の可能性をなくすことになるんですね。

未知なる事への挑戦を日々繰り返し、手に入った失敗という経験からどうすればよいのか再考し、軌道修正する、そして再挑戦する。その繰り返しから、自分の可能性を開花していく。それこそが子供たちが、この先より大きな成果を得る必要条件であると思います。私は学志舎の特別講習会をそんな挑戦の場にしたいと思っています。(必ずしも失敗を奨励しているわけではありません)

さて都会に比べると岐阜の経済もまだまだ立ち直ってはいません。そのことは重々承知です。その中で夏プロに来ていただくことは少し心苦しく思いますが、来て

いただければ必ず満足のいく結果を残すことが私の使命だと思っています。

お金って入口より出口が大切だと言います。今年の夏プロの授業料の使い道はもう決めてあります。育真館のマンツーマン&自習室を作ることです。

この古い建物に教室を作ったのが16年前。お金がないので改装工事を業者に頼めず、事務長と二人きりで、事務所だった今の入ってすぐの教室を改装しました。壁のクロスを張り替えるのに10万円。それを塗料を買って、自分達で塗ることで8,500円で済ませました。

マスキングテープを張り、経年の汚れで黄色くなったクロスの上へ真っ白な塗料を塗りました。塗装の途中で、塗料を頭の上からこぼしてしまい、私の髪が今より白くなってしまったことも？

下手くそなので、塗料があちこちについて二人で何枚のTシャツを捨てたことか(笑)傾いた床は自分たちで直すことが出来ないで、そのままカーペットを敷き、アスクルで注文したたった8つのブースを組み立てました。余談ですが、私が右ひざの半月板を痛めたのはこの作業の最中でした。塗装の途中で椅子の上から飛び降りたときに「キヤッ」。いやな痛みと膝に力が入らなくてしばらく立ち上がれなくなりました。整形外科に行くと内視鏡手術を勧められましたが、怖くてその病院には行かなくなりました(Y先生ごめんなさい)。

以来だましましやっています。今では毎月右関節にお手入れの？注射を打っています。

話はそれでしたが、夜遅く、作業の途中、がらんとした部屋のカーペットを張る前のむき出しの床に座って「塾がやっていけなくなったら、内装屋さんをやろうか」と二人で冗談を言って笑ったのを懐かしく思い出します。

以来、1階の物置を改装、教室と教室の間の事務所を改装。2回の西側物置を改装。そして今回は、駐車場に物置を買って(ヨドコウとかイナバ?) 荷物を詰め込み、2回の東側物置を、マンツーマン&自習室に改装します。9月には工事に入りたいと思っています。育真館の生徒の皆さん、時間がある方は机、イスの組み立て、協力をお願いします！

みんなが喜んでくれる教室を必ず作ります！

New Face 紹介

前号より昨日までに入塾してくれた生徒を紹介します！

岐阜小1年 A. O君

SSめちゃくちゃ頑張っています！
折込チラシを見て連絡下さいました。



岐阜小4年 T. O君

授業の前の挨拶、一番元気な声を出してくれます。

A君のお兄ちゃんです。



中央中2年 H. N君

爽やかなサッカー小僧です！

S. O君のお母さんの紹介です



本荘中2年 S. Sさん
帰国子女で、日本は久しぶり？
HPを見て、来てくれました。



岐阜高校1年 K. K君
テニス部で頑張ってます！
M. O君のお母さんの紹介です。



S. O君とM君のお母さんは同一人物です。
ありがとうございました！
皆一緒に頑張ろうね！

その他

今年も団扇を作りました。
表は「絆」裏はこの夏のテーマである
「加速・離陸・上昇」

暑い夏をより熱く！（夏プロへの想い）
そして団扇で涼しくしてください。
各自1本ずつ先週から配っています。



◆四方山話◆

伊奈波育真館は、気づくと結構遠方から通ってくる生徒が多くなってきました。
距離をパソコンで調べてみました。

遠距離通塾ベスト3

第1位 鶯谷中2年 A. T君

12. 7km

第2位 岐阜東高3 S. H君

10km

第3位 西中1年 T. Hさん・鶯谷中

3年S君 8. 1km

2位のH君は各務ヶ原市在住。家から学校まではちょうど5km。学志舎へ来るのは自宅と逆方向へ5km。ですから学校から帰宅する距離は合計15kmとなります。授業が終わった後、11時半ごろまで毎晩のよ

うに自習をして帰ります。そこから自転車で約50分。帰宅したら午前様です。本当によく頑張っています。

帰り際に「ありがとうございました！」と元気よく挨拶していく、その爽やかな笑顔は、事務長の心をグッと掴んでいますよ（笑）君が帰った後「ホントにいい子やね！」事務長は必ず言います。志望校の名古屋大学（工）に向かって頑張れ！

遠距離通塾ベスト10に入っていないですが、一人ピックアップ。岐阜高校3年M.Nさん。

個別説明会に来た時には、羽島市の自宅からは遠くて通塾は難しいという話をお母さんとしてしました。その距離15km。しかし、体験学習後、彼女は学志舎で受験まで頑張りたいと言ってくれました。で、どうしたかと言うと、駅近くに住むおばあちゃんの家には彼女とお母さん、1年間だけお引っ越し。いやあ、嬉しいですね。力が入ります。岐阜大学（応生）の合格を勝ち取るまで、応援します！

ちなみに過去最長距離は、2年前に長良至誠館に通塾してくれた、揖斐川町の4年生の生徒です。その距離20km。お母さんが50分かけて車で送ってくれました。

その他にも遠距離を通してくれる生徒、送って下さる保護者の方々、本当に遠いところ、いくつもの塾の前を通り過ぎ通塾くださいますこと、ご苦労様です。また深く感

謝申し上げます。送り迎えにはどうぞ事故の無いようにお気をつけ下さい。ありがとうございます。

余談ですが、現代の小中学校の通学距離の平均は約1.5kmだそうです。学校が出来た明治時代は6.3kmだったそうです。これは1970年代まで続きます。80年代から短くなり現在へ。ちなみにケニアの子供たちは平均で片道7km。昼ご飯を食べに帰るので一日2往復、つごう28km走るそうです。マラソンでアフリカ勢が強いのは、こんなところからきているのかもしれませんが。

名古屋で食事会

7月3日（木）名古屋の新栄町へ行ってきました。私の師匠が主催する、塾長達の集う昼食会です。2年ほど前から参加するようになりました。年に9～10回くらいありますかね。そこではいろいろ情報交換をするわけですが、久しぶりに参加した今回は、笑えないジョークのような話を聞きました。

港区のM先生が中3生に、中間テスト対策で時事問題に関して「尖閣」「集団的自衛権」などに注意しておくことを、生徒に言ったそうです。テストが終わり、生徒が持ってきた社会の問題を見てM先生

「アッ」と驚いたそうです。

社会の時事問題に出ていたのはなんと
「握手会で襲われた

AKB48 の二人の名前を書け」
ね、嘘の様な問題でしょ？
私は初めM先生のジョークかと思いました。
皆さんは正解を書けますか？

川栄李奈・入山杏奈



公民の問題でAKB48のメンバーの名
前を問われるんですね…。

私の中では、完全に想定外です。というよ
り、あいた口がふさがりません。
皆さんはどう思いますか？

またその話の後には、別の先生からこん
な話がありました。中2の生徒が授業で、
プラネタリウムへ行ったそうです。パンフ
レットを全員もらって帰るわけなんです
が、直後の理科の試験に出た問題

「先日行ったプラネタリウムの直径は？」
う～ん、これまた仰天です。何を意図して
問題を出しているのか、私にはチンプンカ
ンプン。

事務長曰く、点を取らせるためのサービ
ス問題じゃない？

良く分かりません・・・。

◆お知らせ◆

★今年の坐禅研修の日取りが決まりました。
中3生の1泊研修は、11月の8、9
日。小6の日帰り研修は22日です。
上記研修は、他の学年の誰でも参加できま
す。保護者の方の参加也大歓迎です！！
研修は、坐禅だけではなく。入山か
ら下山までの全てが研修です。
是非一度経験してみてください。

★小学生・中1・2の学力テストの日取り
が変更になっております。
8月の最終の土、日です。ご注意ください。

★9月の講演会、講師の先生が決まりました。
M. S先生です。めちゃくちゃ熱い方
です。私のブログで2回紹介したことがあ
ります。友人が通っていた大人の塾の名古
屋での卒塾式と、十六プラザでのセミナー
だったと思います。9月15日の19時か
ら、いつもの「長良川スポーツプラザ」大
会議室で開催します。お楽しみに！！

★現在「お知らせ」を学志舎のHPに載せ
ております。画面最下段、電話番号の上に
ひっそりと？「塾生限定」とあります。ク
リックして下記の2つを入れてください。
ユーザー名＝
パスワード＝
よろしくお願いいたします。

編集後記

12 日（土）、街の掃除隊で日中友好庭園の掃除を終えた後、中央中 3 年 I 君の野球の応援に、市民球場へ向かいました。

球場に着くと 1 回表の中央中の攻撃でした。その裏守備に着く先発メンバーに I 君の姿はありませんでした。実は金曜日の夜、事務長から彼が先発から外れたということは聞いて知っていました。（本人が事務長に報告）

なんでも、トイレでスリッパ オン スリッパをしているところを先生に見つかり、先発出場無しってことになったらしいのです。生活面を重視する先生らしく、きびしいお咎めですね。

相手は藍川中学。3 回の守備に就くときに私はあることに気付きました。それはピッチャーが歩いてマウンドに行くのです。他の選手も守備に着くときにだらだらと走っていました。中学野球で歩いてマウンドに行く？私の記憶にはありません。それに比べ、中央中の生徒達はチェンジになると一斉にベンチからキビキビと守備位置に走っていきます。それが当たり前です。

4 回表中央中が 4 点先取。そして 6 回から藍川中のピッチャーが交代。私は注目していました。なんと 2 番手のピッチャーも歩いてマウンドへ行きました。

そして 7 回表、ついに藍川中学の選手は投手以外の野手も歩いて守備に着きました。私は啞然としました。”義務教育である中学校、その野球の試合で見たことのな

い、考えられない光景です。ダラダラの選手にも不快感を覚えました、まともな指導をしていない教師に腹が立ちました。そんな部活ならやめた方がよいと思いました。子供たちのためになりません。

一方、クリーンアップを打つ I 君を、生活面の注意より、先発メンバーから外した中央中の先生。厳しすぎるくらいはありますが、私はその方針に、それを貫く態度に共感を覚えました。「技術」の前に「心」です。それが部活の本当の姿ですよ。一流のアスリートは皆そこがしっかりしていますよね。

5-0 の 6 回裏から I 君は守備につきました。競った試合だったら、きっともう少し早めに代打で出ていたと思います。

彼の名誉のために…スリッパ オン スリッパなんて、私だって中学時代やってきました。そして中央中の生徒なら皆知っています。彼が高いスキルを持った、爽やかな野球少年だということを。



次の試合では、土曜日の鬱憤をぜひとも晴らしてほしいものです。頑張れ I !

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。